

6
JUN 2022
VOL.152

心と心をビビビと結ぶコミュニケーションのお手伝いペーパー

ishin-déshin

Let's コミュニケート!
充実させたいコンテンツ

きおく画伯
ケロちゃんの親族
社長と行こう! こっそり食堂
会話は美味しさのスパイスです

特集

東港地区まちづくりビジョン

水野印刷工芸
社内報

ミデコの日々の取り組みを
知っていただくため、
社外にもお配りして
います。

みかわんこ▶



特集

ひがしこう

東港地区まちづくりビジョン

2021年、蒲郡市は蒲郡駅周辺～竹島に至る海辺のエリア＝“東港地区”を対象に、まちに賑わいをつくるための「まちづくりビジョン」を策定しました。具体的な取り組みはまだこれから。皆さんもぜひ一緒に、東港地区のまちづくりについて考えてみましょう。



文責:足立

まちづくりの方法:

主に市民を中心とした「まちを育てる人」を、官民が一体となって支援することで居心地の良いまちづくりを目指します。

まちを「育てる人」

- 市内で生活する人
- 経済活動する人(市内外問わず)
- 多様な価値観でコト・モノを創造する人

まちづくりを「支援する人」

- 民間開発業者
- 活動への投資者

連携

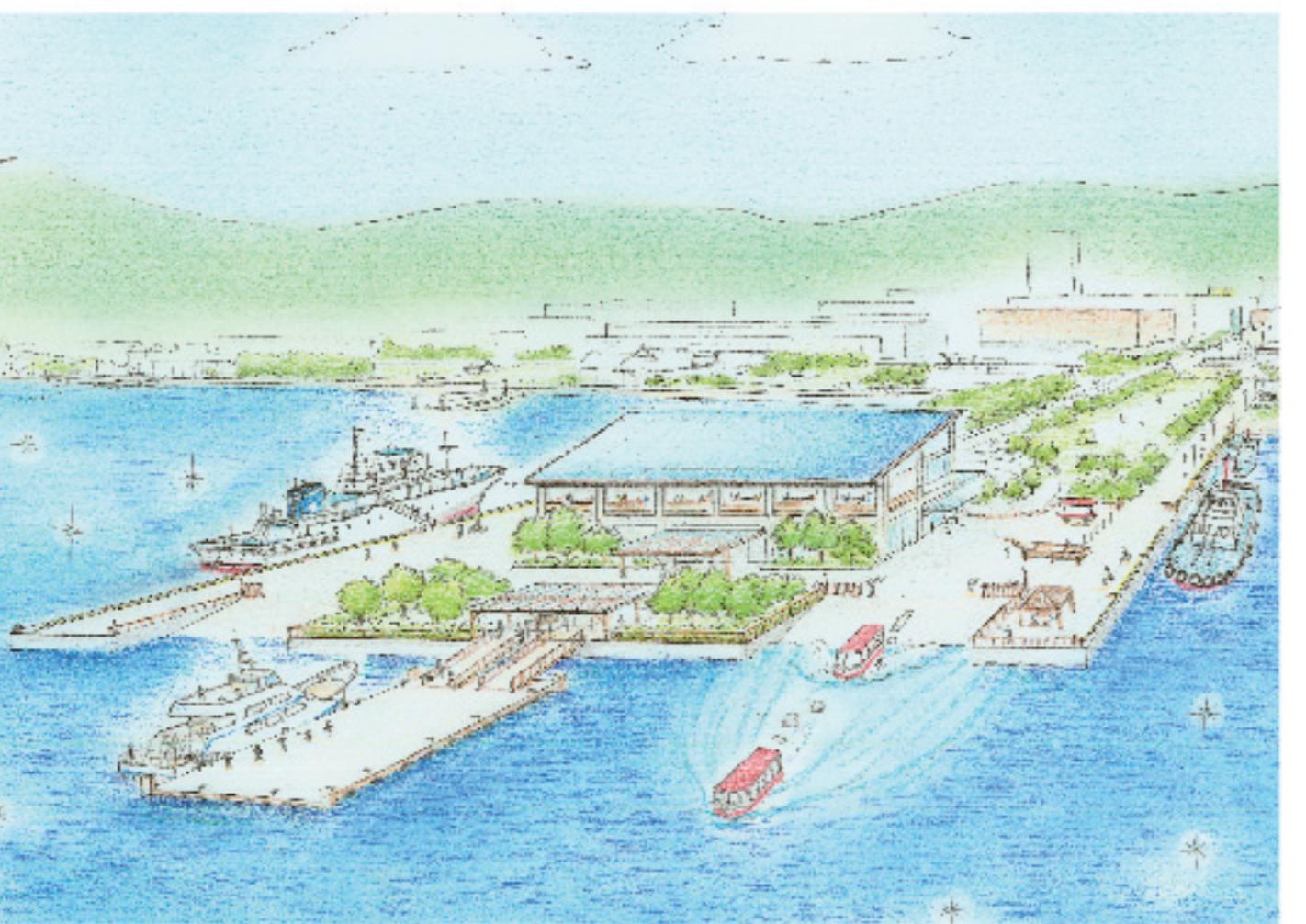
対話

居心地の
良いまちに！

エリア別の目指す姿



蒲郡駅周辺市街地



海辺のみなとエリア



竹島周辺エリア

住む場所、食べる場所、買い物する場所、学ぶ場所等が充実したまちを形成し、「海辺のまち」の玄関口として海を感じながら過ごせるエリアを目指します。

海辺の散策やアクティビティ等を通じて海と触れ合える「みなとオアシスがまごおり」としての発展と、いざという時の防災力も兼ね備えたエリアを目指します。

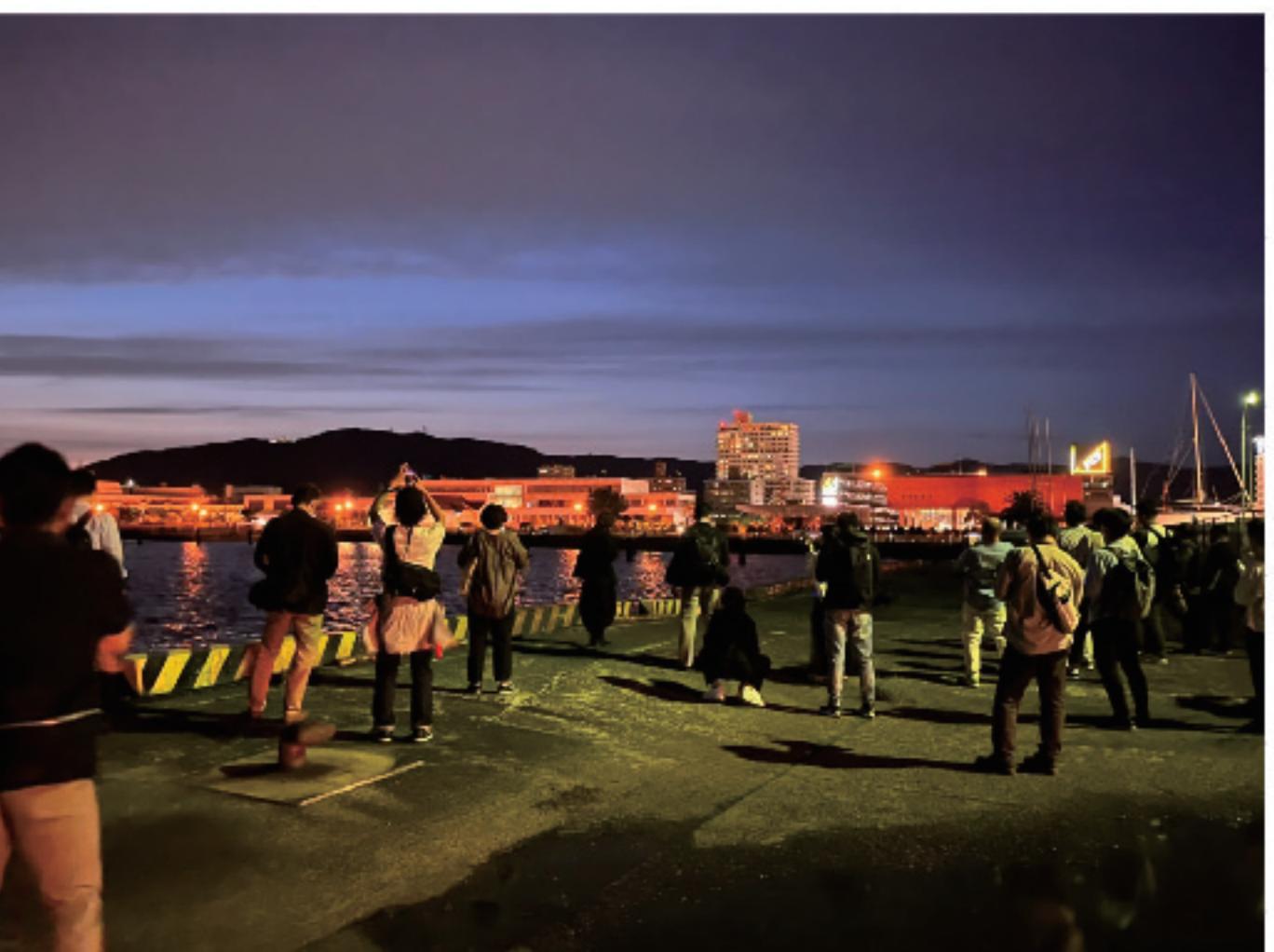
東港地区まちづくりワークショップ 参加報告

足立
2022.5.28(土)

情がガラリと変わるのは大変興味深かったです。

海が近くで特急も停まる蒲郡駅は、実はかなりハイスペック。さらに現状余計なものもなく、広々とした東港地区はポテンシャルの塊であると感じました。

まちづくりビジョンはまだ始まったばかり。ぜひみなさんも、一緒にまちづくりに参加しませんか？



5月28日(土)の夜、蒲郡駅～竹島周辺のまちのあかりについて考えるワークショップに参加してきました！

19:00、蒲郡駅北口に集合。専門家の方のお話がよく聞こえるイヤホンを装着し、意見や感想を書き込むためのバインダーを持っていざ出發です。これまでに駅前～竹島間を往復した回数は数知れず、生まれも育ちも蒲郡の私ですが、“あかり”に注目してまちを歩くのはこれが初めて。今まで気にもしていなかった多くのことに気付かされました。

まず驚いたのは、蒲郡駅周辺はとっても暗いということです。車社会の蒲郡では都会ほど駅前が人で賑わっていないのは仕方ない事ではありますが、それでも暗い。

みなさんご存知の通り、蒲郡駅はとっても海の近い駅。南口から2～3分も歩けば竹島埠頭に到着します。駅から竹島埠頭に至るアピタ横の通りは広くてキレイ。でも、夜は暗い。また埠頭の近くには海を見ながらベンチでゆっくりできるデッキもあり、静かな波の音も楽しめてとても素敵な場所になっています。でも、ここもやっぱり夜は暗い。竹島埠頭も真っ暗で、そこから蒲郡が誇る観光地・竹島まで歩きましたが、道もずっと真っ暗。竹島橋こそライトアップされてはいましたが、まだまだ改善の余地はあります。

移動しながら、さまざまなお話で専門家の方がライトアップの実演をしてくださいました。「例えば、ここにこんなあかりがあったら…」と、植木や看板、船、橋、神社に至るまでさまざまな場所を照らして見せてくれましたが、あかりを灯すだけでまちの表

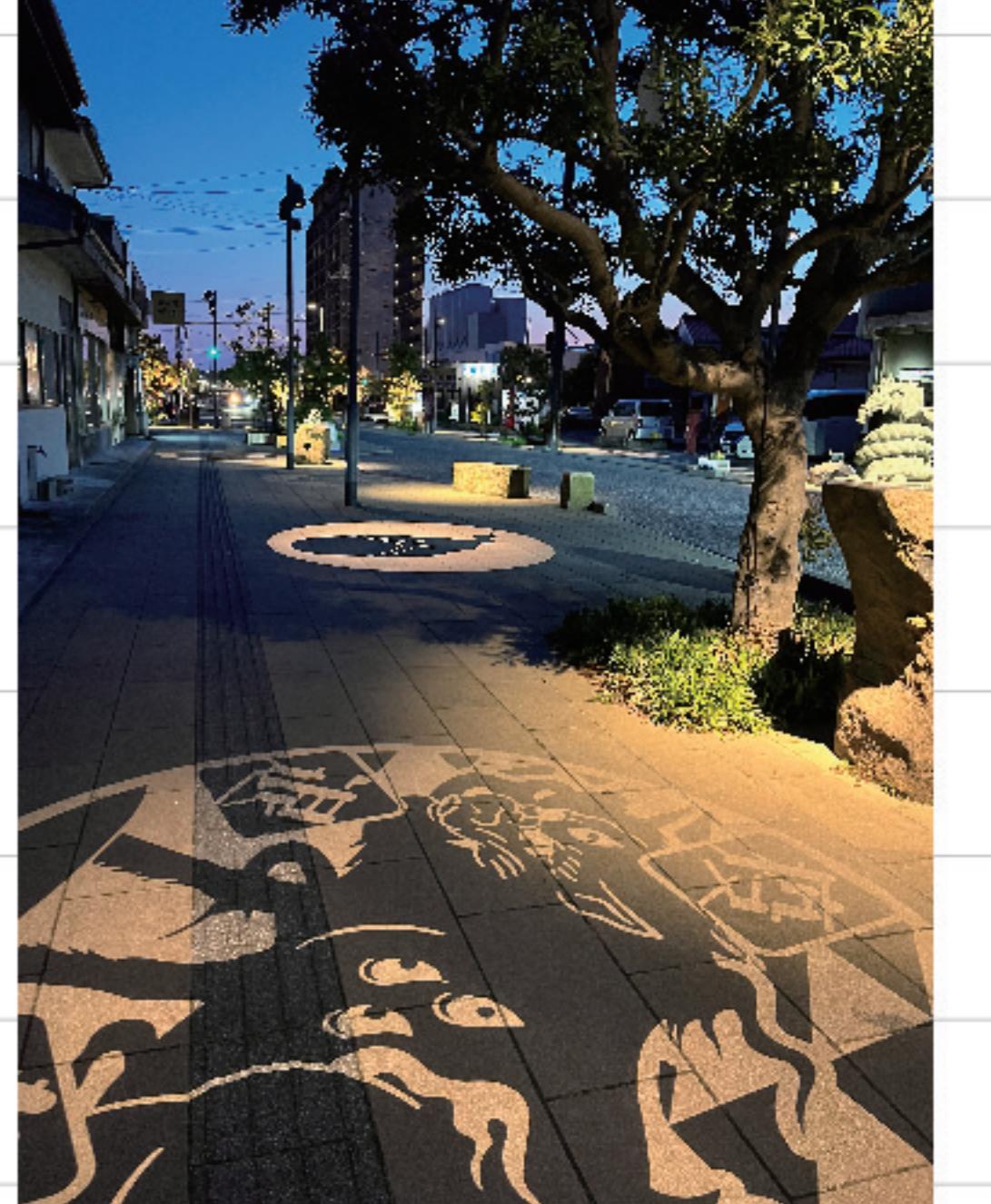
夜の明かりで観光誘致! 水木しげるロード

今回ワークショップを開いてくださったあかりの専門家の方は、なんとあの「水木しげるロード」のリニューアルに手がけた方でした。実は私はまったくの偶然で今年のGWに境港市へ出掛け、ちょうど水木しげるロードを見てきました。

夜にしか見ることのできない妖怪の影絵は、鬼太郎の世界觀に完全にマッチしながら宿泊にも繋がり、さらに季節に合わせて手軽に内容も変更できる最高のアイデアです。実際に私も、シャッターの閉まつた夜の商店街に小さな子どもからお年寄りまで多くの人が楽しそうに歩いていました。もちろん妖怪の影絵もハイタオリティ！ 今までの観光地とは一味違った、夜のまちの楽しい思い出ができました。



▲小泣きじいと私



妖怪だけの商店街▶

一緒に東港地区を
盛り上げてくれる方！



「まちづくりプラットフォーム」登録者募集！

蒲郡市では、東港地区で「こんなことをやってみたい！」、「こんな場所になるといいな～」など、多くの皆様の自由なご意見を募集しています。これから目指すまちの姿を共有し、実際にやってみる環境を共につくっていける皆様、ぜひご登録ください。

ご登録の方へは、今後の東港地区のまちづくりに関する情報提供やワークショップのご案内などがメールで届くそうですよ。

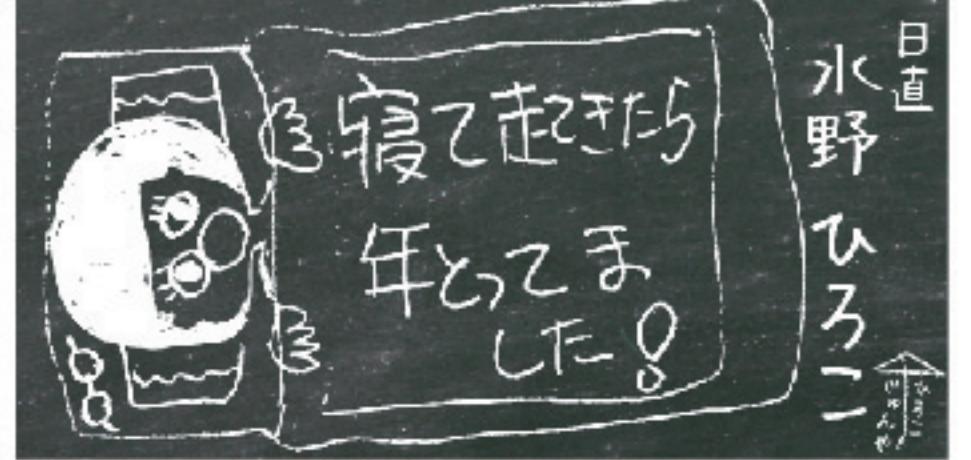
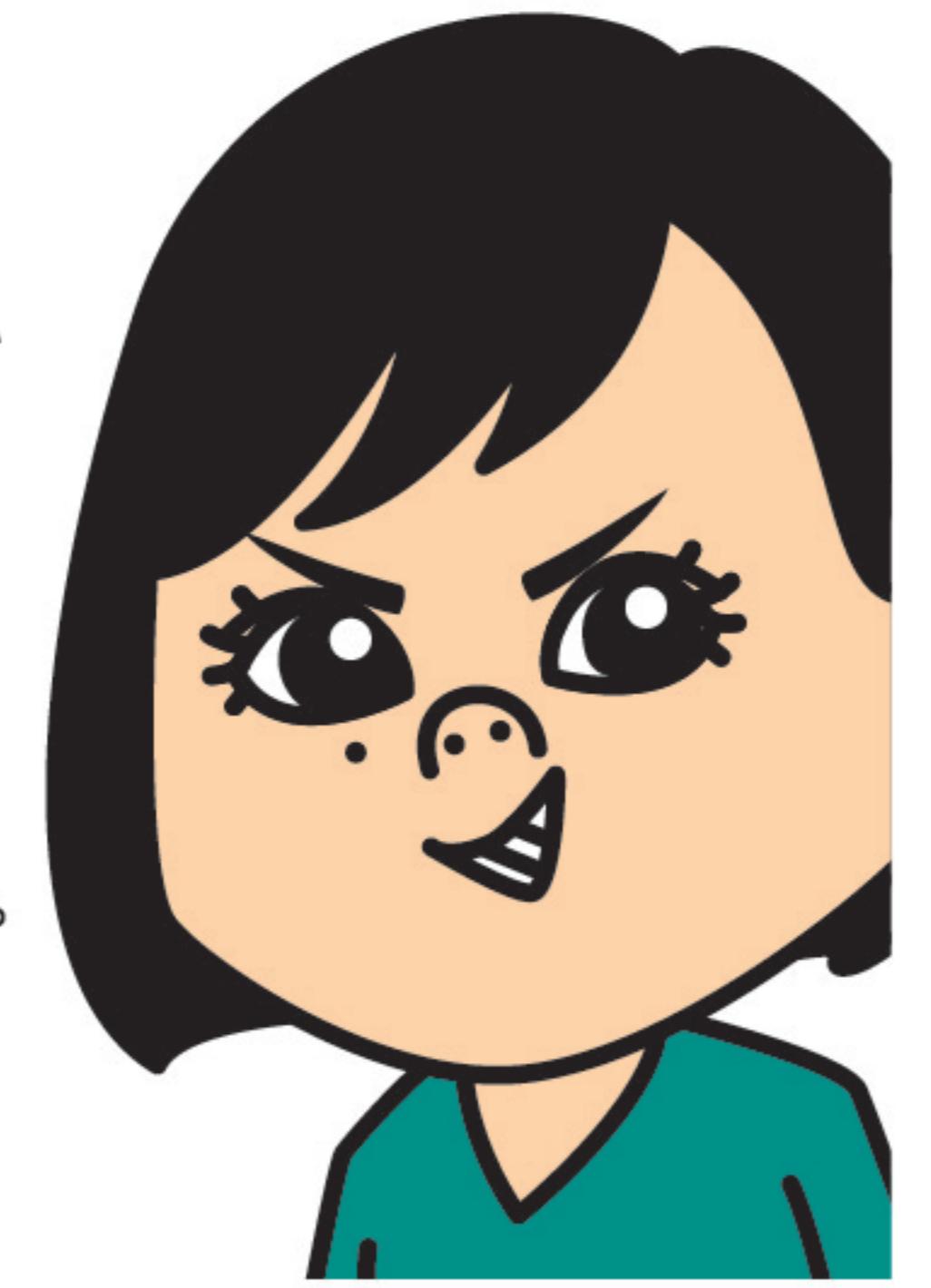
ミデコラム

今月のにわか編集長
足立直子

にわか編集長とは!?

ishin-denshin の編集長は持ち回り制。特集ページの執筆や、みんなのコラムにコメントをつけたり小コーナーの原稿をまとめるのが主な仕事です。

ミデコ社員ひとりひとりが、
それぞれの個性を活かしたコラムを掲載!



第118回

ツタンカーメン王の気持ち?

ツタンカーメン王の墓が発掘されて100年近くになる。何千年も棺の中で姿勢正しく眠り続けているのは窮屈ではなかったのだろうか? いらぬ心配をする私である。

先週は、二人目の孫が気管支炎ということで急な入院。一歳ということで母親も共に入院した。そこで長女である孫を預かることになったのである。孫がお泊まりするのは、今回が初めてではなかったので、孫自身がぐるることもなくすんなりとお泊まりした。ご飯を食べさせ、お風呂にいれ、あっという間に9時(幼児にしては遅い時間)。そこから寝かしつけが始まった。布団には入るが寝そうで寝ない。名鉄電車の踏切横が自宅なので。一時間に4回電車が通る。その度にもう少しで寝そうというところで「赤い電車だ!」と布団から出でていく。赤い電車を応援している私ではあるが心の中で「カンカンうるさいだよー」となる。トントンしながら1時間以上かけ寝かしつけた。

孫自体はまだ3歳なので小さいが、やはり寝るとなると大の字になる。布団の半分以上を占拠される。そして、寝ながら90度回転。より布団が占拠されていく。そして私は、朝までツタンカーメン王のように胸に手を合わせ姿勢正しく、眠った。

自分の子供を寝かしつけるときはおどしますかして寝かしたので1時間もかかることもなかつたし、寝返りをうてばひょいと

まっすぐに直した。(孫は起きるのが怖くて直せない)こんなに窮屈に寝てはいけなかった。なぜだろう?

うーむ、私もその時よりだいぶ大きくなつたということか。納得!!

にわか編集長コメント

子どもが寝ながら動くのはどうしてなのでしょう。軽く調べてみたところ、「大人と違って寝ている間に姿勢を維持する機能が未発達だから」なのだとそうです。確かに寝ている間にあんまり動いてしまっては、野性では事故など命の危険が多いです。浩子さんがツタンカーメンで一夜を過ごせたのは大人な証拠。寝ながらにして孫の寝相に配慮できる発達した機能を持っているということは素晴らしいことなのです。

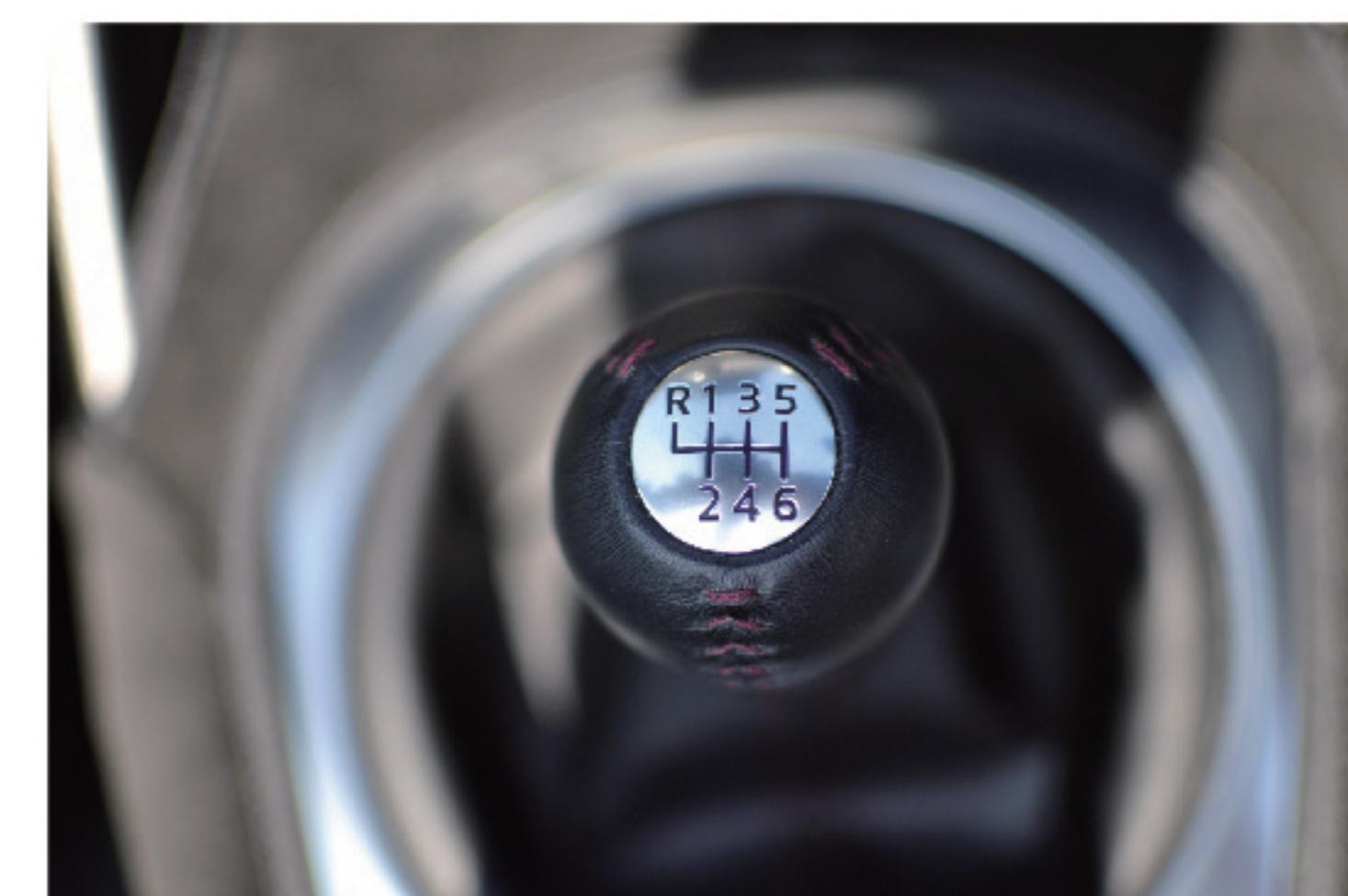
YAMAMOTO KENSUKE
KEN
BUN ROCK

第119回

AT or MT

車の話です。今月はAT MTについての思いを綴ります…。

僕は少し遅めの22歳で運転免許をとりましたが、取得時はなんとなく両方運転で



きる方が無難かなと思ったのと、オートマ限定にわざわざする必要も感じなかったので、制限なしの普通免許をとりました。教習はMTメインで行っていました。最初はひどいものでエンジンがもげそうなぐらいいのガックンガックンとぎこちない走り方で最悪の乗り心地でしたが、慣れてしまえば無問題。ある程度MTが馴染んできたタイミングで、AT講習がありました。最初の印象は「怖っ!」です。ブレーキ離せば車が進むクリープ現象には驚きと恐怖を感じたのを覚えています。頭で分かっていても、実際体感しないと体が理解してくれません。Dレンジに入れっぱなしだと、ずっとブレーキを踏んでいないと動いちゃう。これ危なくなつか?

免許取得後は父親のATのセダンを譲り受け、ATにも慣れればあの恐怖も薄れ、その後もAT車ばかりを乗り継いでいきました。そもそもトランスミッションの違いなんてものに关心はありませんでした。タイヤ四本付いて、動けばええじゃないか? この頃の僕は車にさほど感心がなかったのでしょうか。

ある年、点検修理で整備工場にマイカーを出しましたら、代車がやや古めのMT車でした。免許取得してからMTは乗っていないかったので、正直乗れるかヒヤヒヤしていましたが、自転車と同じで、一度身についたことはけっこう体が覚えています(ぎこちないですけど)。MTはシンプルに楽しい! 教習の時は楽しむ余裕なんてなかったのですが、改めてMTに乗るとそのガチャガチャ感が気持ちいいです。機械を自分の手で操っている感覚、このアナログ感が実に心地良い。回転数合わずに強引に変速したりするとショックがあり、車が「違う!」と反応を返してくれます。上手くシンクロできた時はちょっとした達成感

きおく画伯

第71回

お題 けろけろけろっぴ

描いた人 浩子さん

もうすぐ梅雨の季節。けろっぴの登場です。「目が大きい」ことだけは覚えていたという浩子さん。大人びたこちらのケロッピも素敵です♡

があり、車と一緒に体になれたようで嬉しくもあります。何より車と対話をしている、そんな感覚が良いのです。

元々操作できるものは極力操作したい派なので、ATでもオーバードライブやシフトダウン、パドルシフトを使ってエンブレ効かせるなど、ATなのにMTばかりにガチャガチャやらないと気が済まない性分なのです。車にあまり良くないかもしれません、ついつい何かをいじりたくなります。

左手がじっとしていられないのです。そういう自分は元々MTとの相性が良かったのかもしれません。

月日は流れ、昨年またまMTに乗り換える機会が訪れました。代車のMTで感じた楽しさを忘れられず、いつかMTに乗りたいと思っていたので、良い転機となりました。4代目のND型マツダロードスター、MTのスポーツカーに乗るとは夢にも思っていました。現代のMTには驚くことばかりで、半クラの幅が広いため、ほぼエンストしません。クラッチペダルをゆっくり繋いでいくと回転数が自動的に上がり、アクセル煽らなくても少しづつ動き出します。教習車は半クラの範囲が狭かった(普通?)ので、ちょっと粗く操作するとすぐエンスト。MTの進化に驚いた次第です。ロードスターのMTもかなり制御が入っているので、昔のような難しさはなくなり、MTの楽しい部分を体験できます。今ではイージーMTドライブを満喫しております。

MTに乗り換えてからはAT MTについていろいろ調べるようになりました。「AT MT論争」というのがあるんですね。ATのスポーツカーに乗っている人が「なんだ、オトマかよ」と言われたり、「AT限定免許はださい」とディスられたり、その一方でMTに對しては「今時ガチャガチャやっているの昭和くさくでダサい」「今ではスーパーカー

のGT-R、ランボルギーニ、フェラーリもAT」「MTよりATの方が速い」など、違いの主張がぶつかっている感じ。答えのない討論。価値観の押し付け合い、ぶつけ合い…。

ATもいろいろ種類があるので一概には言えません。トルクコンバーター式AT、CVT(ブリーバーによる無段変速機)、DCT(MT構造の2枚クラッチの)以前乗っていた車がAT(DCT)だったので、DCTのシフトチェンジの速さと正確性はよく知っています。あっという間にトップギアになってしまって、変速ロスなんて何処吹く風。変速スピードだけで言えば、MTはDCTに敵わないでしょうね。ただ、DCTはMTより耐久性がないため、走行距離を重ねてくると故障のリスクが非常に高いですね。DCTにも湿式、乾式があるので、さらにややこしい話になります。前乗っていた車は湿式、前の前の車は乾式のDCTでしたが、乾式の方が、熱に弱いため、夏場に荷物たっぷり、複数乗員で乗るともうやばかったです。ギアが入りにくく、不快な振動であるジャダーが頻発します。DCTには最悪ギアが入らなくなるという恐ろしい構造上の欠陥?があります。ジャダーがひどいため、予防的にDCTユニットを交換しましたが、その際にかかった費用はなんと80万円! orz(保証でカバーできました)フォルクワーゲン正規ディーラーだとこれぐらいに金額になります。故に今後車を検討する際はDCTの場合、湿式か乾式は要チェックです。排気量が小さいタイプだと乾式が多いです。

ATが良いか、MTが良いか。自分としては、遠出メインだったらAT、運転操作を楽しむならMT、速さを求めるならAT(DCT)、海外旅行が好きならMT(海外はMT主流の国が多い為)ですね。車に何を求めるかで変わってきますね。レースゲームならAT一択です。車との付き合い

方、車に求めるもの、人それぞれですね。

個人としての正解は存在しますが、全体としての正解が存在しない、これが正解?でしょうか。これも僕の感想でしょうけど。

にわか編集長コメント

実は私もMTで免許を取りました。確かにその時は楽しかった記憶がありますが、取得後十数年、一切車に乗らないペーパードライバー期を経て今は当然ながらAT車を運転していますが、MTの乗り方なんて完全に忘却しました。免許の値段はMTの方が数万円高かったと記憶しています。もったいないことしたなあ。



第118回

雀百まで踊り忘れず

最近次男の帰りがすこぶる遅い。3年生が引退してからグッと遅くなった。

思えば入部してからというもの、私立高校に進学したかつての仲間から聞く近況と比べ

「ゆるすぎる! 公立高校」という心の叫び(もはや口から漏れ出てたが)を何度も聞いたことか。「3年生が引退するまでは1年は山を走るだって!」とドン引きのすんごいだった走り嫌い次男。が、蓋を開けて見れば、「山が低い。『え? これ?』っていうゆるい

坂道をちょっと走って帰ってくるだけなの。しかも最近じゃ田圃の周りになつてしまふ…

とこれまたぼやき。

ぼやきって『ソライ・キビシイ』だけじゃないのね…と新鮮な発見。

そんなフラストレーション溜まりまくりだった数ヶ月を経て、解き放たれた小僧たちは、グラウンドに隙がある限り(野球部・ハンドボール部と共に用なので)ボールを追ってキャッキャつしてらしく、晚御飯をスタンバイしてじっと待つ我々夫婦には「晩ご飯は家族みんなで食べましょう」というヒトとしての美しい姿勢と、耐え難い空腹との闘い…というレベルの低い苦行のような時間が続く。

オットなど

「まあ…こうでなきゃ困るっちゃ一困るけどな…」

と自分に言い聞かせてる始末。口ではそう強がりながら、茶碗と箸のセットされた食卓でちんまり待機しているあたり泣ける。

そういうふうして内にヘトヘトの次男が帰宅。食卓につくなり、マシンガントーク炸裂。お行儀はよろしくないが、まあ大目に見てやろう。来月1年生大会が始まること、外部コーチの意見と仲間の意見がかみ合わないこと、同学年内の元クラブチーム組と中体連組(中学の部活)の溝が何となくあること、顧問のモノマネをしたらめっちゃ似ててみんなにウケたこと…立派に水の如く、話題が出てくる出てくる。さすが宴会部長。

食べたり喋ったり忙しい次男とすっかり食べ終わり、それを黙って聞いてるオットの図を横から一步引いて見てたら、十数年前の光景を思い出した。

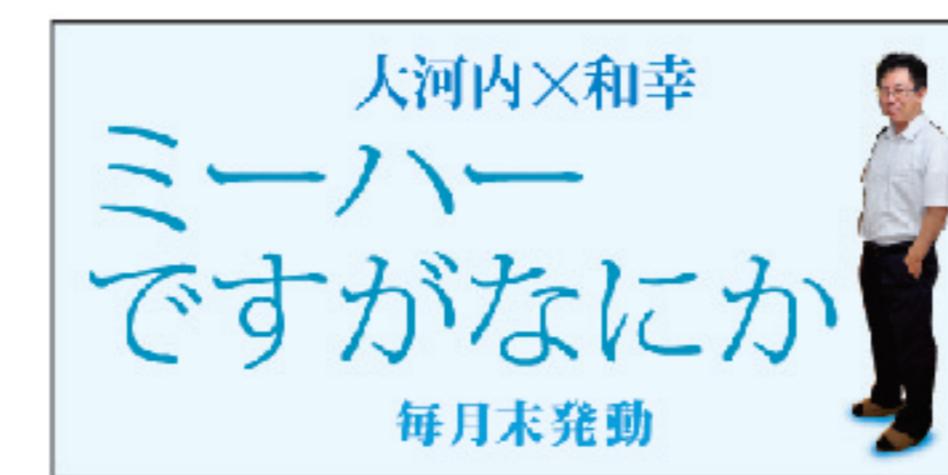
キッズチェア(ごはん用)に座り一丁前に父と兄の会話を仲間入りしようとハッスルしてた次男が急に静か…「?」と思って覗き込んだら蒸しパンを握りしめて爆睡。オットと長男も気づいて声を殺して爆笑した。…次男、寝落ちせずに完食できるくらいの体力はついたが、落ち着きの無いおしゃべ

り資質はなかなか治りそうもない…。
まあ…楽しそうだから…いいんか?



にわか編集長コメント

仲間の多大なる努力のお陰で中学の部活の成績が悪くなかった私は、悠々自適に部活動推薦でゆるい公立高校へ入学。はじめこそ顧問の先生、先輩から熱い期待を受けているような気がしますが、二年後には部活を休んで絵を描きに行くようなやる気ないマンにすっかり変貌していました。前田家次男くんには、部活動への熱い思い、ぜひ持ち続けてもらいたいものです!!



第119回

アサシン善児の次なる標的

昨年12月にスタートしたテレビアニメ今年の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」はこれまでの大河とは一味も二味も違う。まずオープニングタイトルバックの尺が例年よりも随分と短くなった。キャストさんの名前は出るが、スタッフさんの名前はエンディングにまわされた。単純にタイ

トルバックを短くしただけではなく、その日のラストがさらに盛り上がる演出上の効果もあるのだという。たしかに例年3分近いタイトルバックは大河ならではの重厚感もあって民放とは違うんだぞ、民放とは! みたいな強い意思表示を感じていたものの、やはり少々長過ぎるかなと思う部分もあったりして、さあ見るぞ的な熱が冷めてしまう感があったのは確かだ。最初の内は違和感もあったが、半年近くも経つとすっかり慣れてきた。そしてオープニング曲が今風でとにかくカッコイイ。ゲーム音楽界でも有名な方の作曲らしく、これまで歴代の大河とは一線を画している。軽快なテンポでリズムを刻み、日本の伝統音楽にも聞こえるような今どきのテーマ曲は、毎回聞いているだけでワクワクが止まらない。そして何より面白さを倍増させているのは我らが三谷幸喜大先生の脚本に尽きることは言うまでもないだろう。三谷大河は2004年の新撰組!、2016年の真田丸に続く三度目の登板となる。

前回当コラムで紹介した三谷大先生の初期作品「王様のレストラン」は鎌倉時代を意識したドラマであることはマニアの間では有名な話だ。オーナーの原田禄郎とギャルソンの千石武の関係を義経と弁慶の関係になぞらえ、登場人物の名前には鎌倉幕府関係者の苗字や名をあてている。シェフの磯野しづかは静御前、バーテンの三条政子は北条政子、総支配人の水原範朝は源頼朝と源範頼から一文字ずつ、さらには他のキャストには梶原景時、稻毛重成、大庭景親、和田義盛、畠山重忠、佐々木高綱らの苗字を使用するなど徹底したこだわりを見せるあたり四半世紀以上も前から三谷氏は平安時代末期から鎌倉時代初期にかけて造詣が深かったことは容易に察しがつく。そしていつか鎌倉を舞台とした作品を手掛けすることを待ち望み、いよいよ満を持して「鎌倉殿の13人」にたどり着いたのではないかと思うのだ。ミーハー的にはついつい戦国時代物や幕末時代劇に

目がいってしまい、平安時代や鎌倉時代にはほとんど興味がなかったのが実情。平家と源氏の争いも北条家や藤原家と言われてもピンとこなかったのが本音で、なぜ鎌倉なんだろうという疑問が消えなかつたが、この半年近く「鎌倉殿の13人」を見るうちに、これほどまで三谷氏が鎌倉にこだわる理由が少しずつわかつてきたよう気がする。

今回の主人公は小栗旬演じる北条義時。歴史の授業で習ったことがあるかもしれないが、全く覚えていない。実姫が北条政子(小池栄子)だと知ると多少は理解しやすいかも。政子が源頼朝と結婚することで義時の運命は大きく動き出すことになる。平家滅亡の後、頼朝は鎌倉に幕府を開くものの権力絶頂時に亡くなってしまう。そして二代将軍・頼家を補佐する形で発足した13人の合議制。この13人の生き残りをかけた策略と政治のパワーゲームが後半戦の見どころだ。前半戦を振り返ってみると、とにかく身内同士、兄弟同士、親戚間の裏切り、殺し合いが半端ない。感覚的には1話に一人くらいのペースか。ただそこは三谷脚本の妙。複雑に散りばめられた伏線を回収しながら、歴史の荒波に飲まれて散っていく人々の運命を見事に描いていく。それでもう一人、ネット上でも話題になっているのが善児(ぜんじ)だ。伊東祐親に仕える下人として第1話から登場するも、その与えられた恐るべき裏の顔は淡々と人を殺める暗殺仕事人。演じるのは三谷作品には欠かすことのできないバイプレーヤー梶原善大先生だ。三谷氏が生み出したオリジナルキャラクターのようだが、20話までに手をかけた人数は両手に迫る勢いだ。主君である伊東祐親を躊躇なく殺めたかと思えば、北条軍に紛れ込んだり、今度は梶原景時に仕えて物語をかき回している。思い起こせば「王様

のレストラン」にもパーティシエとして出演しており、最終話直前に千石さんが失踪する事件の元になった問題児だった。癖の強い役をやらせたら間違ひなくトップレベル。オープニングの出演者が次回予告に「善児 梶原善」が出たら要注意だ。次に狙われるのははたして誰か、まさか謎の多い頼朝の死に善児が関わることはないだろうが、三谷大先生ならわからぬ。後半戦も善児の大活躍で「鎌倉殿の13人」にならないことを祈るばかりだ。

にわか編集長コメント

エンディングでクレジットが流れるのはそういう理由だったのですね。いつもの大河にはこんなのがなかったよな~、と思いながらあまり気にしていなかったのですが、そんな大改革が行われていたとは驚きです。

真田丸の神回なり、物語以外の部分でもこれまでの常識を覆して来る三谷さんは本当にさすがです。

は休止状態なのだ。何も考えていない。指示されてから動くのは、何も考えなくてもよいから最初は心地よいけど、毎回となるとかえって面倒臭くなるものだ。よく子供が言う言葉“今からやろうと思ってたのにい”を連発したくなる。しかも指示をする方から見ると“またか!”となり、信用も下がる。それが態度に出るとお互いが嫌な気分になったりする。

こんなことは職場だけではなくどんな場面でもよくあることだ。逆に能動的に動くとは自らが進んで考え、行動することなので、人から指示をされることが嫌な人には特におすすめだ。言われなくて済むし、逆に先にやっておけば、いい議論ができるし前向きになれる。これはストレス回避方法にはちょうどいい。

そんなに急には能動的になれないよと言う声もある。能動的に行動できる要因は①優先順位②スケジュール③他人に自分の時間をコントロールされない時間帯を作る(何が何でもこの時間はブロックする意思)誰でもできそうなことである。これをするだけでかなりのストレスから解放されること間違いなし。

にわか編集長コメント

受動的原因の理由は、ズバリ「やらずに済むならやりたくない」という意識が根底にあるからです。しかし、やらなくて良いことをやると、周りの人は期待していないかったぶん大いに喜んでくれるので。人は、誰かを幸せにすると“幸せホルモン”とも呼ばれる脳内物質「セロトニン」が分泌され、自分も幸せになれるのだそうです。というわけで、自分と周りの幸せのためにみなさんどんどん能動的に動きましょう。

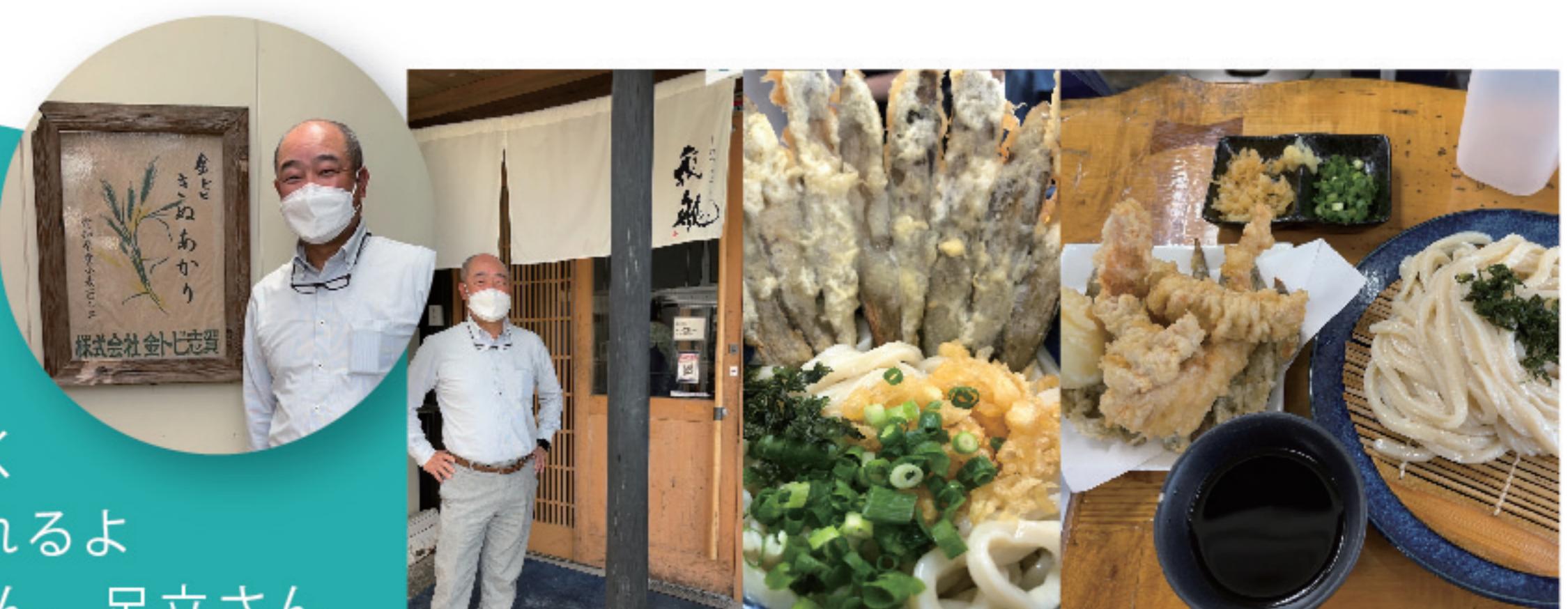
一に日本道

永野 順也

第119回

実は能動的に動くのが一番精神的にいい

みんな、受動的に動いていないか? 言われてからやる。言われないからやらない。指示されるからやる。指示がないとやらない。もしかして、指示がないとやらないともよいと勘違いしていないだろうか? 受動的とは無意識に待っていることで、脳みそ



店先は行列でしたが、注文を先に取ってくれるので、入店後は流れるように社長のカレーうどん、足立さんの天三もりざる(かしわ・ごぼう・たまご天)、そして私のごぼうぶっかけ(冷)。女子にうれしい「麺少なめ」もあります。

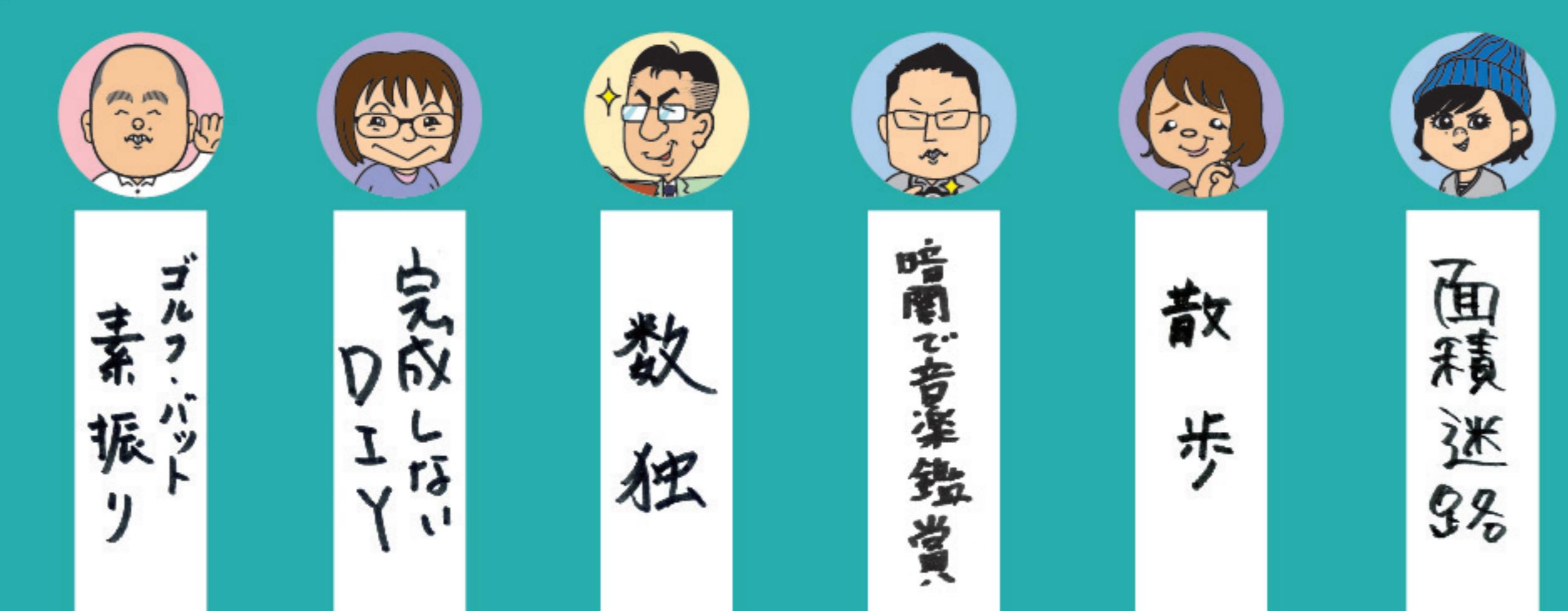
一見コワモテなご主人がいつまでもいつまでも味わう足立さんに「ゆっくり召し上がってくださいね」と笑

顔で一言。ギャップ好感度抜群w …が、足立さん焦る(まだ外は並んでるので→かきこむスピードが上がる→ご主人「いや、ホントに。ゆっくりしてってw」→我々が→足立さんさらに焦る…の負のループ。いやいや、おかげで美味しい&楽しいランチタイムになりました。(前田)

レッツコミュニケーション!

今月のお題

スマホ以外の暇つぶし
(ただしPC、TVなど目が疲れるものNG)



今日は少し足を伸ばしver.
ごぼう天に焦点を定め、おつゆか生醤油かぶっかけか…。うーん、迷う。「本日は晴天なり」よし、ぶっかけ!



にわか編集長 コメント

248を蒲郡から岡崎方面へ。イオンモールの直前、マックを過ぎたあたりから左手に注目していると白壁に「COFFEE」の文字が見えます。大通り沿いなので緊張しながら進みましたが、意外とすんなり見つかりました。とても雰囲気の良いお店です。

今月の 八百万百景

夜のパームビーチ

撮影者：山本兼佑

夜の西浦温泉パームビーチです。露光長めに撮っているので、波がふんわりとした印象になっています。南風荘があったところがぼっかり空いてしまっているのが、少し寂しい感じです。



今月の にわか編集長 編集後記も持ち回り制!

今年は4月に和歌山県、5月に鳥取県へ旅行に行ってきました。コロナによる長い自粛期間を経てようやく諸々の規制がなくなりつつある三年目の夏。私は密かに「月イチで旅行」という野望を掲げました。6月はどこへ行こうかな～！

足立 直子